

第5次振興計画の見直しに伴う地域ワークショップにおける話し合いについて ～市民の意見を十分にふまえた、市民主体の計画の見直し～

地区ワークショップの地域での話し合いの概要

- ◇市内8地域において、地域の課題やその解決方法について話し合うワークショップを開催。
- ◇約200名(1地区15～30名)の市民が話し合いに協力。

⇒話し合いを通して、地域の課題やそれをふまえての地域の暮らしやすさ、魅力を上げる意見を整理して市長に提出。

主な課題や意見

◇ 少子高齢化社会への対応

- 一人暮らし高齢者へのサポート
- 高齢者がいきいきと暮らせる活動(健康教室の開催等)の促進
- 高齢者の買い物や病院への足の確保
- 学童保育所の整備など子育てしやすい環境の整備
- 独身者への「婚活」の促進

◇ 安全安心かつ快適な地域社会の構築

- 自主防災組織の構築
- 交通安全マナー向上のための意識の醸成
- 危険箇所の点検、速やかな改善
- より利便性を高める地域内の道路網の整備
- 地域であいさつ運動や食育運動等の推進

◇ 地域資源の利活用

- 地域の特産品の開発(ブランド化)と販売促進
- 特にさくらんぼのより効果的なPR
- 農業後継者の育成、耕作放棄地の有効活用
- 歴史講座やガイドマップの作成など地域の財産を地域で知る取組みを
- 地域の宝である慈恩寺や長岡山等の整備
- 地域文化の伝承、後継者の育成

◇ その他

- 冬期間屋外スポーツのできる施設の整備
- 市民の立場にたった市政、信頼される市政を
- 飛び地の解消